



病と闘う子どもと家族のサポートハウス

パンダハウス

News Letter

VOL.10 2020年3月号
(年2回 3月、9月発行)

HP QRコード



発行

認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会 事務局
TEL & FAX 024-548-3711
〒960-8157 福島県福島市蓬萊町八丁目15番地1

HP <http://pandahouse.org>

facebook <https://facebook.com/npo.panda.house>

E-mail office@pandahouse.org



令和2年度の活動について

理事長 山本 佳子

昨年12月の総会で22年を迎えたパンダハウスの活動では、総計で延べ6,361家族37,393人がハウスを利用されました。2017年から始めた相談事業は翌年から福島県立医科大学附属病院と協定書を結び、延べ約1,000件の相談に乗り、また約100件のカンファランスに参加させていただいてきました。

お子さんの命を守るためのご家族総出の闘病生活の中で、わずかでも支えになればと思っています。

利用者さんからのお話は、私たちにとって本当にありがたく貴重なものです。皆様がたくさんお伝えしたいお話・エピソードがあります。

私たちが、会津やいわきでバザーなどの活動をしている時に、「以前、利用して…」と、駆けつけてくださり、ハウスの使い心地やその後のご様子をお教えたことも少なくありません。ある方は、私たちが利用者さんに応援の印としてお渡ししているパンダバッジの目などが取れて、のっぺらぼうになってきたものをお持ちいただいたこともありました。「いつも、持ち歩いていたら、こうなっちゃいました」とおっしゃって。ここまで、大切にいただいたことに感謝しました。



他県から、足掛け何年にもわたってご利用になっていたご家族は、その後ハウスにお寄りになった時、「(幼い時の発病で、途中自宅の引っ越しもあったため)パンダハウスでの家族団らんの思い出が一番多い」と話されました。

ベトナムから骨肉腫で9ヶ月間滞在したフェイスちゃんは、入院して間もない頃、打ちひしがれた様子で、ソファに沈み込んでいた姿が印象的で心配していました。厳しい治療や足を切らなければならない手術で、本当に大変そうでしたが、お母さんの手料理やハウスのWiFiを利用して、母国

のご家族やお友だちとの交流が功を奏し、また幸い思っていたよりも少ない部分の手術で済むことにもなり、元気に退院していったことは、以前にもご報告しておりましたが、帰国後、元気にしていると、制服姿の写真をいただいております。このようにお伝えしたいお話が山ほどあります。



ただ、中には退院された方々のその後の生活上のご苦労についてのお話を聞くこともあります。健康上の不安を抱えての学校への復帰の大変さや、将来の仕事を持って社会人としてやっていく体力に自信がなかったり、心身共に不安定な状態が発生することもあり、社会への一歩を踏み出せない方もいらっしゃると思います。

まだまだ、語りつくせない利用者さんからの話を、今後エピソード集としてまとめようと思っております。ご支援いただいた皆様のおかげであり、ハウス運用の成果であると思います。どうぞ、楽しみにお待ちしております。

さて、パンダハウスの今後ですが、たくさんの方々のご支援で増築・改築も無事完了し、ハード的にはしばらく安心ですが、今後継続した運営と末長い利用を考えますと予断を許しません。これからも、活動当初の原点に戻り、皆様と共に育てていただきたいと思っております。

今までもボランティアの皆様にお手伝いをお願いしてきましたが、もっと積極的に関わりを持っていただくための組織作りを考えております。具体的にはハウス運営に関わっていただくサポーターを募集し、一緒に運営について考えていただく場を設けたいと思っております。

まずは、「サポーター募集説明会」を数ヶ月に1回開催し、定例化したと思います。利用者の皆さんの現状を知っていただき、原点に戻り利用する方々のニーズを受け止められるようにするなど、皆様と共有し、協同の活動に盛り上げていけたら良いと思います。様々なご専門の知見も生かしたプロボノ(社会人が自らの専門知識や技能を生かして参加する社会貢献活動)の方も大歓迎です。

「パンダハウスを育てる会」を、今後とも、どうぞ、よろしく願いいたします。

パンダハウスのサポーターになりませんか?

～病と闘う、病と生きる子どものために、私たちができること～

子どもの病とその家族の思いや現状を知っていただき、
私たちと共に何ができるか考えて下さる方、ぜひお力をお貸しください!

2020年5月・7月 サポーター募集説明会開催!

* 詳細は近日ホームページに掲載いたします。



パンダハウスを支える皆様へたくさんの感謝を!



福島県立医科大学附属病院
病院長 鈴木 弘行様

パンダハウスの運営に関わる全ての皆様、日頃のご支援本当にありがとうございます。

難しい病気と闘う子どもたち、そしてそのご家族の心と体を支えて20年余、年間延べ2000人を超える多くの皆様を受け入れて下さっていることに対してあらためて敬意を表したいと思います。私は本学の出身でありますので、パンダハウスの設立時からその崇高な取り組みを拝見しておりました。日々の患者さんへの支援に加えて、クリスマスイベントやチャリティバザーをはじめとした院内での活動、そして外部への情報発信など年々充実する取り組みには大きな感銘を受けております。そしてその影には育てる会の山本佳子理事長をはじめ関係する皆様の、言葉では言い尽くせない多大なるご苦勞とご努力があったものと思います。病院を代表してあらためて深謝を申し上げたいと存じます。

私は肺がんの治療を専らとして参りましたが、言うまでもなく、がん患者さんは沢山の精神的なストレスに曝されながらも

日々の辛い治療を受けていらっしゃる。子供さん、ましてや遠方から慣れない場所に治療に来られる方々において、その心労は相当なものであることは想像に難くはありません、そういった子どもさん方がご両親やご兄弟と一緒にいられる時間はとても大切な安らぎのときです。このような意味でパンダハウスの存在は当院での治療を行ううえで欠かせないものとなっていると確信いたします。

当院では小児腫瘍の先進的な治療施設として全国から患者さんが来院されておられます。また2017年には小児AYAがん長期支援センターが設立されました。これは治療が終わってからも様々な晩期の合併症を抱えながら日々頑張っている患者さんへ成人診療科と密接に連携しながらケアを提供するものであり、国内初の取り組みです。

(<http://www.pedonc.fmu.ac.jp/aya/>)。

また、当院みらい棟にはPICU(小児特定集中治療室)も設置され、県内はもとより全国的にみても先進的な小児医療の提供施設と自負しております。

今後も、県内の皆様により良い医療、心のこもった医療の提供に努めて参りたいと考えております。引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。

活動報告 (2019年10月~2020年2月)

ボランティアさんと共に活動しています!

~チャリティバザーを開催しました! (福島県立医科大学会津医療センター及び附属病院) ~

●福島県立医科大学会津医療センター

2019年10月5日(出)「あいづ健康チャレンジ事業2019 in 会津医療センター&附属病院祭」にチャリティバザーで参加しました。



●福島県立医科大学附属病院

2019年12月10日(火)・11日(水)福島県立医科大学附属病院にて、恒例のチャリティバザーを開催しました。



<御礼> バザー開催にあたり、病院職員の皆様、バザー商品をご提供いただきました皆様、販売をお手伝いいただきましたボランティアの皆様、ご協力いただき誠にありがとうございました。売上金につきましては、パンダハウスの運営に役立たせていただきます。

~ハウス花壇を冬・春シーズンに植替えました~

2019年11月3日(日)街路樹も色づいた秋晴れの日、花壇の植え替えを行いました。



~パンダハウスのサンタクロースがプレゼントを配布~

2019年12月21日(出)福島県立医科大学附属病院に入院している子どもたちへ、パンダハウスのサンタさんからクリスマスプレゼントを届けました。

突然のサンタクロース登場にビックリの子どもたち、サンタさんへ手紙を書いて待っていた男の子。

6月から心を込めてプレゼント作りにご協力いただきましたボランティアの皆様へ感謝いたします。



サンタさんにお手紙を書いたお子様

~ハウスはクリスマスモードに!~

2019年12月7日(出)東邦銀行シーガルテニスクラブの皆さんがクリスマスツリーを設置して下さいました。



手作り版画作成の様子



手作りバッグ作成の様子

利用者の声



今回、産まれて3日目の娘が先天性の心臓病で地元の病院では対応できず、福島医大に緊急搬送になりました。そこで、ここパンダハウスの存在を知りました。遠方の私達にとってとても助かる施設でした。娘の手術後、夫婦での看護が始まり、宿泊先の費用の面から余計な事は考えることもなく、看護に集中することが出来ました。

体力面、精神面、費用面からも、とても助かりました。

施設はとても清潔で、スタッフの方々にも親切にして頂き感謝の言葉しかありません。

私達のような遠方の限られた病院でしか手術が出来ない家族にとってはパンダハウスは心の支えになりました。このような施設が増えれば、子どもの親にとって希望になると思います。本当にありがとうございました。

今回、出産後すぐの子どもの手術の為、利用させて頂きました。

地元から離れての出産、病院への通いにも不安が沢山ありましたが、とてもきれいな施設でスタッフの皆さんも、とても親切にお声掛けをしてくれて、安らげる場所となりました。

母と主に利用させてもらい、キッチン用品も充実しており、不自由なく過ごせました。本当にありがとうございました。

また、通院等の際は利用させてもらいたいと思います。

パンダバッチもとても可愛く大切にしたいと思います。

今日、こちらのパンダハウスを知り、入院患者さんとその家族の為の施設ということで、普通では泊まれない低価格で、家族が入院の患者さんのそばに居られる。

考えて下さっているなあと、すごうれしく感じました。

こんなに気持ちのモチベーションが下がっている中、ありがとうの一言で使ってもらえる施設で過ごさせて頂いて、いい日を過ごせました。

こちらが無かったら、車で寝るか家に帰るかでした。

あたたかく、徐々に笑顔になれました。

泣いてばかりの私を笑顔にさせてくれてありがとう。



私とパンダハウスとの関わりについて

ボランティア
羽賀 道雄



長年勤めてきた仕事を退職し、さて何をしようかなと思案していた頃、テレビでパンダハウスのボランティア募集に関する報道を見ました。

私の自宅とパンダハウスとの距離は車で3分程と近く、建築中は何を建築しているのか疑問に思いながら車でその隣を通過していました。そして、完成したおしゃれな外観を見るたびその疑問はさらに高まりました。

そんな時、テレビで見たボランティア募集のお知らせ。早速パンダハウスに問い合わせいたしました。パンダハウスに伺うと、理事の方々にやさしく対応していただき、男性の私になにかお手伝いできることがあるのかなどのご相談をいたしました。その結果で自分ができる範囲内でボランティア活動を行うことを決め、今に至っています(約8年間かな)。

最近は仕事の関係でボランティア活動の時間がなかなかとれず、バザーにおける商品の搬入・会場の設置・搬出、または花壇の花の入れ替えなどしかお手伝いできていません。決まった曜日にボランティア活動を行っている方々に対し申し訳ないと思っている今日この頃です。

利用者の方々と接する機会はあまりありませんが、総会資料等に掲載されている「利用者の感想」を拝読すると、利用者の方々の看護の御苦労が手に取るように伝わります。よく知らない地において、入院されておられる御家族の看護をするということは本当に心細ことでしょう。その御苦労を感想文にて読むと涙腺がつい緩んでしまうことがあります。その御苦労がパンダハウスを御利用していただくことにより、精神的また肉体的に少しでもリラックスされればと思います。一日でも早く平穏な日々に戻られる様お祈りいたします。

パンダハウスボランティアの一員に加えていただき8年間、山本理事長はじめ理事の方々と並びに事務方の方々そしてボランティア仲間の方々のご助言をいただきながらボランティア活動を行ってききましたが、今後さらに継続していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019福島

今後の活動予定

- 3月 7日(土) : パンダハウスサポーター募集説明会
- 5月: 花植え
- 6月: チャリティバザー (会津医療センター)
- 8月: チャリティバザー (福島県立医科大学附属病院)

賛助会員加入と寄附金のお願い

- 賛助会員年会費 個人(1口) 3,000円(1口以上)
団体(1口)10,000円(1口以上)
- 年会費・寄附金振込先
郵便為替口座 口座記号番号: 02200-9-110330
加入者名: 認定特定非営利活動法人
パンダハウスを育てる会
※他金融機関から、郵便振替の場合
店名: 二二九(二ニキュウ)店 当座預金 0110330

ハウス清掃

ボランティア募集中

利用者の居室、リビング、ほーる、お風呂、トイレ等のお掃除ボランティアを募集しています。
パンダハウスは365日ご利用いただける施設です。
活動日についてはご相談に応じます。

●活動時間: 10:00~12:00



パンダハウス利用状況 (自平成31年10月1日~至令和元年9月30日)

■利用者数と利用率		■地域別利用者数			
家族数	延べ人数	家族数	シェア率	延べ人数	シェア率
648家族	4,110人	378	58%	2,169	53%
利用率 82%		県内		2,169	
		県外		1,719	42%
		国外		222	5%

収支報告 (自平成31年10月1日~至令和元年9月30日) (単位:円)

科目	金額	科目	金額
収入の部		支出の部	
会費収入	1,933,000	事業費	23,950,329
寄附金収入	10,556,754	管理費	2,544,952
事業収入	3,012,536	法人税等	72,000
助成金収入	23,940,000	積立基金	15,004,475
その他収入	212,850	- - -	- - -
前期繰越	14,576,856	次期繰越	12,660,240
収入の部 合計	54,231,996	支出の部 合計	54,231,996

募金箱設置のお願い

募金箱を設置していただける所を募集しています。
300箇所を目指し活動しています!



募金箱設置箇所

(敬称略・50音順)

【県北地域】

(尚)安藤自動車整備工場 / あずま通りクリニック / あとりえ悠然 / 石井整骨院 / (株)伊藤製作所 / (尚)五十嵐モーターズ / (株)石畑自動車 / (株)梅津自動車販売 / (株)ウエディングエルティ / au ショップ吉倉 / 小島自動車(株) / (尚)オートショップ福島 / 医療法人おひさま子供クリニック / かまた鍼灸整骨院 / (尚)カーサービスこんの / (尚)加藤モーター商会 / 風の谷 / (尚)絵工堂 (2 個) / カーテン館タケダ(尚) / 上松川診療所 / 絹の里 / (株)極東不動産 / キワニスクラブ (2 個) / (尚)技研オート / ケアタウンひまわり (2 個) / 金剛院 / サイトウ洋食店 / (株)佐々木自動車 / 常泉寺 / 松北町内会 / JU 福島 (10 個) / スリムグレース / (尚)須藤モーターズ / 睡眠館雅貴 / 鈴木 牧子 / 精華苑 / (株)第一印刷 / 大久自動車販売(株)飯坂店 / 大久自動車販売(株) / 東北スパル自動車販売(株) / 東栄物産(株) / (尚)東邦マイカーセンター / (株)同仁社 (3 個) / (株)ナプロアース / (株)中合 / (尚)日栄自動車商会 / 日東産業(株) / 二本松自動車販売(株) / ネオビジュアルアポロほうらい / (株)ハイブリッジ (3 個) / harima 美容室 / 花の店フローラ / パールアヴェニュー / 日野屋楽器店 / 富士ゼロックス福島(株) (2 個) / 福島ロータリークラブ / 福島医大病院こども医療センター東病棟 / 福島県住宅生活協同組合 / (尚)福島地域開発 / 福島県庁消費組合 / (尚)福南自動車工業 / 福島コミュニティ放送(株) (FM ポコ) / 福島片岡鶴太郎美術庭園 / (尚)福島自動車流通センター / 福島水産物商業協同組合 / 福島日興自動車(株) / ヘアサロンさんかく / (尚)ベル / (株)ホンダプリモ東福島 / ホテル辰巳屋 / (株)保原モーターズ (2 個) / 本カフェ信夫山文庫 / (尚)マイカーセンター山城 / (尚)マイカーセンター渡辺 / まちづくりコミュニティゼえね / (株)三島自動車 / メイプル接骨院 / (尚)麺匠八幡 (2 個) / (株)メディカル・ファクトリー オリーブ薬局 / (株)メディカル・ファクトリーわかば薬局 / 盛岡屋分店 / ヤマザキ自動車販売(株) / (株)梁瀬モーター / 山家整形外科 / 学校法人有朋学園 / (株)コアテック福島支社 / よしなり / (株)四輪販売福島 (2 個) / 一般社団法人ライフク実行委員会 / (株)ら・さんランド / LIGHT THE FIRE / れがーろ SHOES&FASHION SALON Regalo / ロアフォルジュ司法書士事務所 / (尚)渡辺自動車 / 渡辺健寿法律事務所

【県中地域】

(株)アルファオート / (株)石井実業 / (尚)エイシン陣屋店 / (尚)エイシンうすい店 / エクスターメディカル(株) / (株)エフコム (2 個) / 公立小野町地方総合病院 / (株)共栄水産 / (株)コンピューターシステムハウス / Co-ba KORIYAMA / 三伸自動車販売(株) / 税理士法人三部会計事務所 / (尚)サンライズ / (株)テックス / (株)東北ジーワイ / 東京マイカー販売(株) (3 個) / 東部ガス(株) / (株)東北自動車販売 (2 個) / 医療法人永井歯科医院 / ねざし / (株)はるプランニング / (尚)光自動車整備工場 / 福島医療専門学校 (4 個) / (尚)ファイブ・コーポレーション / (尚)丸進自動車 / 医療法人むかわクリニック / (株)渡清 / 渡辺 美恵子 / (尚)我妻自動車整備工場 / (株)優希

【県南地域】

(株)秋山建材 (2 個) / ありがクリニック / (尚)ゼットマイカーセンター / 本多設備工業(株)

【相双・いわき地域】

(尚)アクセサリーワタナベ / 一般財団法人新田目病院 / いわき健康センター / 井上慎一 / (尚)エムズファクトリー / 隠心書道教室 / (株)川村自動車販売 / 社団医療法人かしま病院 / (尚)兼松商店さんけい / GVITAR SHOP Nevermind / (株)クルマのわかつき (6 号店) / (尚)クリエイティブロダン / (尚)ケンミウラ / 特定非営利活動法人 Commune with 助産師 / サードプレイス泉 / 志緒里 / (尚)杉内自動車整備工場 / 太陽自動車(株) / 高萩自動車工業(株) / たかば接骨院 / デザインスタジオ ガリ / なかゆくい / NEO-CLASSIC / 公益財団法人福島県保健衛生協会 / 特定非営利活動法人ままはーと / 政井 香代子 / リトルウィング レディースアパレル

【会津・南会津地域】

会津医療センター / あきもと整形外科クリニック / (尚)イチウアウト / エステサロンムラカミ / 社会福祉法人桜寿会 / (尚)北会津自動車 / (尚)斎藤オート / スエゾーカフェ / (株)鶴ヶ城会館 / 東邦自動車(株) / ベコカップ実行委員会 / 南会津町社会福祉協議会 / 医療法人内科消化器科みつはし医院 / 渡部 優

【県外】

ストラライカー・メドテック(株) / 日本ストラライカー(株) (2 個) / 西田 雪佳 / まんでん堂こどもクリニック (令和2.1.31 現在)

皆様のご協力ありがとうございます

*この News Letter は、日本財団の助成金により作成しております。

